

この度はアエラ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品の取り付けには重要保安部品周りの作業を含みますので、専門の知識・技術を持たれる方に作業を依頼して下さい。

参考作業時間: 1h



ステップベースの取り付け位置

- ・前上 : 6mm前、16mm上
- ・前下 : 6mm前、6mm上 (推奨)
- ・後上 : 4mm後、16mm上
- ・後下 : 4mm後、6mm上

※締め付けトルク: 18Nm

※ロックタイト243 (中強度) 相当推奨



ペダル先位置変更

- ・ペダル先をスライドさせる事で、ステップバーとの距離を10mmの範囲で調整する事ができます。

※ロックタイト243 (中強度) 相当推奨



ロッドエンドの取り付け穴について

- ・取り付け穴を下の穴に変更する事でショートチェンジ仕様に変更出来ます。
(出荷時設定: 上の穴)



取り付けにあたってのご注意

- ・走行直後は、各パーツが熱くなり火傷の危険性があります、必ず冷えている状態で作業を行って下さい。
- ・作業は必ず安全な場所で車体を安定させ、十分注意して作業を行って下さい。
- ・メンテナンス不良、取り付け作業上の不備、誤った使用での保証は致しません。
- ・本製品の取り付け後の返品はお受けできません。
- ・金属部品のエッジ、角などには注意して下さい。
- ・部品の曲がり、変形などが発生した場合は速やかに補修を行って下さい。
- ・組み付け作業を行う際はメーカー発行のサービスマニュアル(整備要領書)を熟読し各部の締め付けトルクを守って下さい。
- ・各ネジの参考締め付けトルクはM5(約4Nm)、M6(約8Nm)、M8(約18Nm)です。
- ※締め付け参考トルクはネジが緩まない事を保証するものではありません。
- ※取り付け後、走行中の振動によって必ずネジは緩みます定期的に点検、増し締めを行って下さい。
- ※何か問題が発生した場合は、速やかに使用を中止し、カスノモーターサイクル アエラ事業部までご連絡下さい。

アルマイト製品について

- ・アルミニウムの表面を電気化学的に酸化させ、皮膜を生成させたものです。
- ・着色アルマイトについては塗装の様な微妙な調色はできません。また使用するアルミの材料によっても色が違ってきます。
- ・着色アルマイトは、紫外線、熱、薬品などの要因で色褪せやひび割れが発生します。
- ・アルマイト厚みは、0.005mm~0.02mmと非常に薄い為、部品同士が擦れる箇所や乗車時にブーツが擦れる箇所での摩擦で下地のアルミ表面が現れます。
- ・アルマイト処理を行う際に部品を保持する部分(接点)には色が付かない場合があります。

以上はアルマイト処理の性質で避けられない為、クレーム対象にはなりません。予めご了承下さい。

※左右から同時に締め付ける為、2人での作業が必要な箇所があります。
 ※作業時は平坦な場所でメンテナンススタンドを使用して下さい。
 ※エンジン下部にジャッキ等を軽く添え、エンジンが下がらない様にして下さい。
 ※推奨二硫化モリブデングリス: shell HDX2

【A】 左(シフト)側



① 対辺6mmのボルト、裏側:対辺12mmのナット
 ※締め付けトルク:20Nm、ロックタイト243(中強度)推奨

② 対辺14mmの貫通ボルト、反対側:対辺15mmのナット
 ※締め付けトルク:60Nm、二硫化モリブデングリスをネジ部に塗布

③ 対辺24mmのボルト(反対側も同時にゆるめておく)
 ※締め付けトルク:72Nm、二硫化モリブデングリスをネジ部及び座面に塗布

④ 対辺14mmのボルト
 ※締め付けトルク:40Nm、二硫化モリブデングリスをネジ部に塗布

1) 左側のサイドカウルを取り外して下さい。

2) 矢印のボルトを外し純正のステップを取り外します。

※ステップを外す際、③対辺24mmのボルト部分にあるカラーが抜け落ちる可能性があるので注意して下さい。

＜＜クイックシフターのロッドエンドをAELLA製のシフトロッドへ交換して下さい。＞＞

① シフターボディよりマイクロスイッチを取り外します。※内部のピンの紛失に注意して下さい。

② 純正のロッドエンドを取り外した後、シャフトのネジ部を清掃、脱脂します。

③ 内部のピンを抜き、4mmのピンポンチを差し込み、ロッド部分にスパナをかけ、締め付けます。

※プライマー塗布後、ロックタイト262(高強度)相当推奨

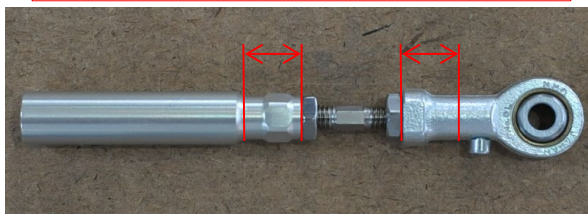
※この際、出来るだけピンポンチがフチに当たらない様に左手で押さえて下さい。

④ マイクロスイッチを元に戻します。※ピンが底部まで挿入されている事を確認し、ピンの向きに注意して下さい。

⑤ 完成したシフトロッドを当製品のチェンジペダル側のロッドエンドと連結させて下さい。



ペダルの高さを調整する際
 ネジ部は最低8mmかかる様にして下さい



1) AELLA製のベースプレートをはめ込み①～④のボルトを仮止めします。

①のボルト穴位置は車体の個体差が大きい箇所になりますので優先して仮止めして下さい。

②のボルトは反対のナットを付けずに差し込んでおいて下さい。

④のボルトは付属のキャップボルトM10L80に付け替えて下さい。

※注意: 部品番号⑯～⑱の伸縮カラーは出荷時固定されておりません。

車両個体差がありますので取付時に距離を確認し調整して下さい。

⑰ナットを緩め、⑱調整カラーを短くしベースプレートを車体に押さえつけながら長さを調整して固定して下さい。

2) ①と④のボルトの順に締め付けます。

※②と③のボルトは右(ブレーキ)側のベースプレートを仮止めした後に締め付けます。

3) ベースプレートにステップベースを取り付けます。

※締め付けトルク: 18Nm、ロックタイト243(中強度)相当推奨

4) 組み替えたクイックシフターをシフトアームへ取り付けます。ピロカラー7mmはシフトアームとの間に入れて下さい。

5) シフターを取り付けた後、ロッドエンド間の距離を調整しペダル先の高さを任意に調整して下さい。

※ペダルの高さは50mmから60mmの間で調整して下さい。

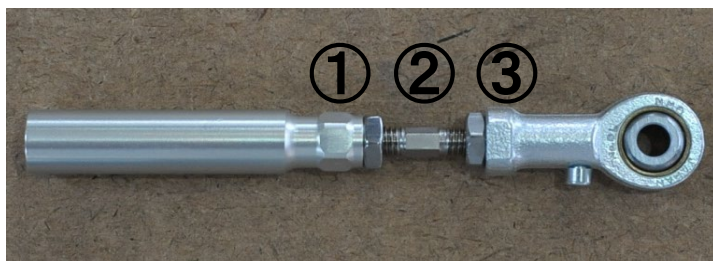
(その範囲を超え調整する際は別途部品交換が必要になりますので御相談下さい)

※下図の様に2本の青い線が並行に近づくよう調整する事でシフトフィールが滑らかになります。

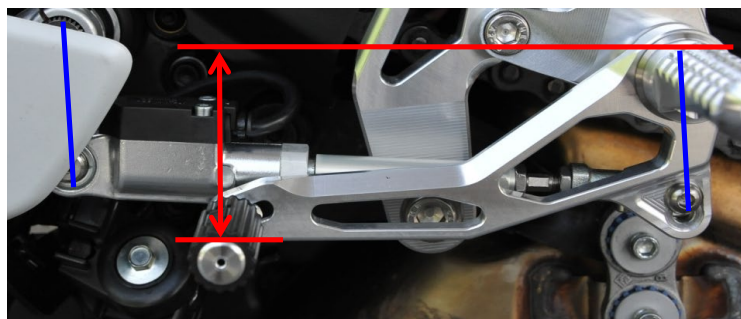
『ペダル先の高さ調整方法』

②の対辺5mmの六角部をレンチ等で固定し、両端のナット(シフトロッド側: 正ネジ①、ロッドエンド側: 逆ネジ③)を緩めます。

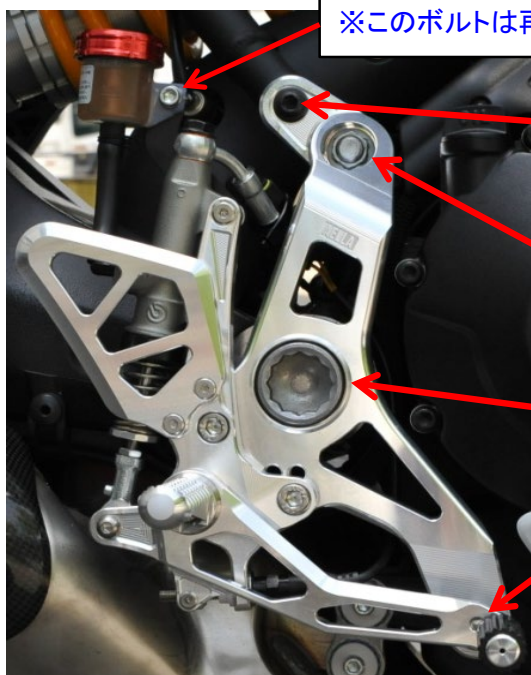
ターンバックルを回しながら好みのポジションに調整し、両端のナットを締め込み固定します。



【B】 右(ブレーキ)側



※このボルトは再使用します。



① 対辺6mmのボルト、裏側: 対辺12mmのナット
※締め付けトルク: 20Nm、ロックタイト243(中強度)推奨

② 対辺15mmのナット、反対側: 対辺14mmの貫通ボルト
※締め付けトルク: 60Nm、二硫化モリブデングリスをネジ部に塗布

③ 対辺24mmのボルト
※締め付けトルク: 72Nm、二硫化モリブデングリスをネジ部に塗布

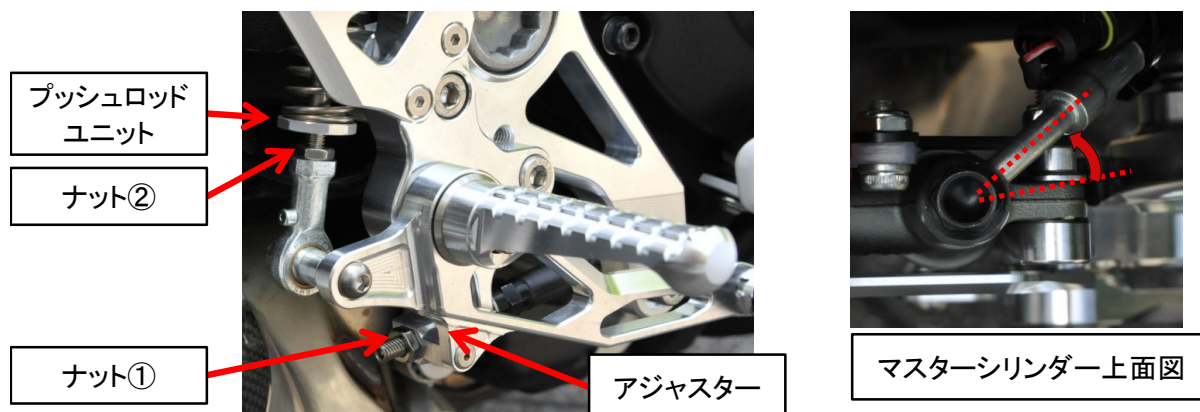
④ 対辺14mmのボルト
※締め付けトルク: 40Nm、二硫化モリブデングリスをネジ部に塗布

- 1) 矢印のボルトを外し純正のステップを取り外します。
- 2) ストップスイッチのカプラーを外し、ベースプレートからストップスイッチを取り外します。
- 3) 純正の銅ワッシャーの代わりに、付属のSUS M8ワッシャーを使用しストップスイッチを取り付けます。
- 4) マスターシリンダーのダストブーツを外し、付属している樹脂製のリテーナーに付け替えます。
※マスターシリンダーの継ぎ目の跡が盛り上がっているので、リテーナーの内側のくぼみに合わせてはめ込む。
- 5) ベースプレートにステップベースを仮止めします。
- 6) プッシュロッドを差し込みAELLA製ステップをはめ込みながら、ストップスイッチの配線を取り廻しカプラーに差し込み、配線を結束バンド等で固定します。
- 7) ①～④のボルト・ナットを仮止めします。
 - ①のボルト穴位置は車体の個体差が大きい箇所になりますので優先して仮止めして下さい。
 - ④のボルトは付属のキャップボルトM10L75に付け替えます。

※右側の伸縮カラーも同じく固定されておりません。左側と同様に調整、固定して下さい。

※マスタシリンダータンクステーは付属の物に付け替える。タンクは付属のロックナットを使用し止める。※上図参照

- 8) ①、④、②、③のボルトの順に締め付ける。
- 9) その他の全てのボルトも締め付ける。
※ステップベース取り付けボルト M8 × 16: 締め付けトルク: 18Nm、ロックタイト243(中強度)相当推奨



- 10) ペダル先の高さを任意に調整して下さい。 ※調整時はヒールガードを外して下さい。

『ペダル先の高さ調整方法』

アジャスター部のナット①を緩め、アジャスターを回しペダルの高さを調整し、再びナットを締め付け固定して下さい。

ナット②を緩めプッシュロッドユニットを回して突き出し長さを調整し再びナットで固定し、遊びを調整して下さい。

※ペダル先を手で押して、ブレーキがかかり始めるまで約1.5～2mmの遊びがあるか確認して下さい。

遊びの量が適切でないとブレーキのロックやエア噛みの原因となります。

- 11) バンジョーボルトをほんのわずかだけ緩め、角度を10～15度程ずらしホースに負担がかからない様にして下さい。

※ブレーキフルードが周りに付かない様に注意して下さい。万が一付いた場合はすぐに水で洗い流して下さい。

- 12) 調整が完了したら、ブレーキ及びストップランプの作動と、締め忘れが無いかなどの確認を行ってください。

※初回を含め、定期的に動作やネジの緩みなどを点検し、必要に応じて増し締めや調整を行ってください。

※何か問題が発生した場合は、速やかに使用を中止し、カスノモーターサイクル アエラ事業部までご連絡下さい。